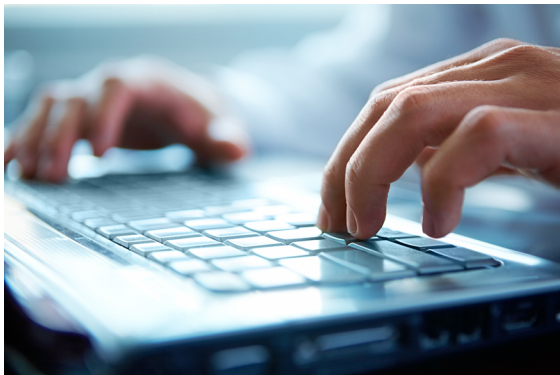




クイック・スタート・ガイド

Windows向けフローティング・ ライセンスのインストール手順



このドキュメントでは、NXPのCodeWarrior®フローティング・ライセンスをインストールするプロセスを説明します。

ようこそ

Windows向けフローティング・ライセンスのインストール手順のクイック・スタート・ガイドへようこそ。

このドキュメントは、フローティング・ライセンスとサーバ方式を使用してCodeWarrior製品の使用を開始するためのガイドです。

フローティング・ライセンス方式では、1台のライセンス・サーバがライセンス・マネージャ・プロセスを実行し、接続されたさまざまなクライアント・マシンにライセンスを配布します。

クライアント・マシンには、CodeWarriorソフトウェアがインストール済みで、ライセンス・サーバとの間にTCP/IP通信が確立されている必要があります。

フローティング・ライセンスの詳細については、[ライセンスと登録に関するよくある質問 \(FAQ\)](#) を参照してください。

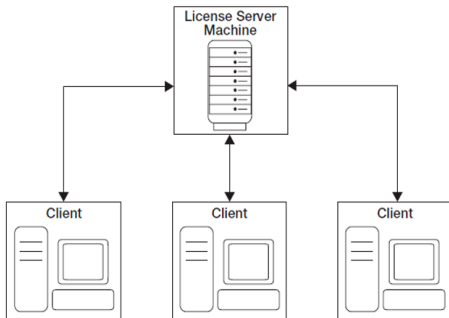


図1：フローティング・ライセンスのシナリオ

ステップ・バイ・ステップの手順

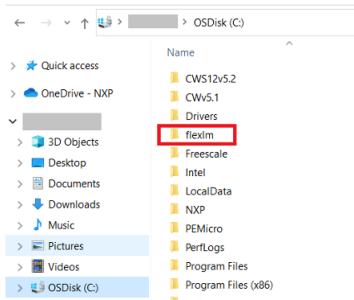
サーバ側：

1. 次のリンクから、Windows用ライセンス・マネージャ・インストーラとWindows用LMTOOLSユーティリティをダウンロードします。

- [ライセンス・マネージャ・インストーラ - 32ビット](#)
- [ライセンス・マネージャ・インストーラ - 64ビット](#)
- [Windows用LMTOOLS - 32ビット](#)
- [Windows用LMTOOLS - 64ビット](#)

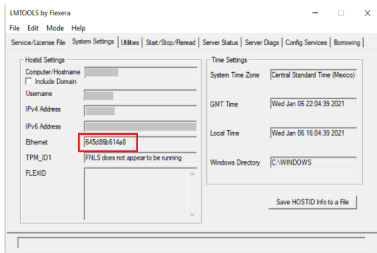
注：インストールは、ライセンス・サーバ・マシン上の管理者権限を使用して実行する必要があります。

2. C:ドライブにflexlmという名前のフォルダを作成します。



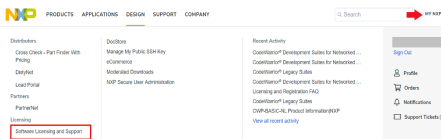
ステップ・バイ・ステップの手順 (続き)

- .zipファイルからライセンス・マネージャ・インストーラをこのフォルダ内に抽出します。
- ダウンロードしたLMTOOLSを実行し、[System Settings (システム設定)] タブに移動してイーサネット・アドレスを取得します。



注：複数のイーサネット・アドレスが表示される場合は、最初のアドレスを使用します。

- www.nxp.jpにアクセスし、CodeWarrior製品の登録に使用したアカウントでログインします。
- [My NXP] をクリックし、[Software Licensing and Support (ソフトウェアのライセンスとサポート)] をクリックします。



ステップ・バイ・ステップの手順 (続き)

7. [View Accounts (アカウントの表示)] に移動します。

Software Licensing and Support

The screenshot shows three white cards on a light gray background. The first card, 'Expired Software(11)', has a circular arrow icon and a link 'Renew Expired Software >'. The second card, 'Software accounts', has a wrench and screwdriver icon and a red-bordered link 'View accounts >'. The third card, 'Activate code', has a key icon and a link 'Activate >'.

注: 該当する場合は、CodeWarrior Suiteが追加されたアカウントを選択します。

8. 左側のメニューで、[Order History (注文履歴)] をクリックします。

The screenshot shows the NXP website's 'Product List' page. The top navigation bar includes 'PRODUCTS', 'APPLICATIONS', 'DESIGN', and 'SUPPORT'. The breadcrumb trail is 'NXP > Software & Support > Product List'. The main heading is 'Product List'. The left sidebar contains a 'Software & Support' section with 'Order History' highlighted by a red box. Other sidebar items include 'Product Search', 'Recent Product Releases', 'Recent Updates', and 'Licensing'. The main content area has a welcome message and a 'To access an item, select a product below.' section with links for 'NXP Software', 'Wireless Charging Reference Platform', and 'NXP Software'.

9. 登録したスイートを見つけ、クリックします。

ステップ・バイ・ステップの手順 (続き)

Order History

Find Line Items

Search Order ID

For DLA-PRO-FL_QGEL11431

Filter By

Order Date

Entitlement Exp. Date

From

To

[Search Line Items](#)

◀ 1 to 1 of 1 ▶ Entries per page: 25

Order ID / Line #	Details	Entitlement Exp.
DLA-PRO-FL_QGEL11431	Creating Item ID DLA-PRO-FL Creating Item Name CodeWarrior Development Suite - Professional Edition, Annual Subscription, Floating License Additional Details	Jan 30, 2021

10. 表の右側にある3本線のメニューをクリックします。

11. [License(s) (ライセンス)] をクリックします。

Order Detail

Click on the "Download" link next to the product to download it (only available when applicable).

Entitlement ID: DLA-PRO-FL_QGEL11431

Order Date: Jan 31, 2020

PO Number:

Line	Product Description	Manufacturer Part Number	Qty	Entitlement Expiration Date
+	1 CodeWarrior Development Suite - Professional Edition, Annual Subscription, Floating License	DLA-PRO-FL		

[License\(s\)](#)

[Download](#)

12. [Select All (すべて選択)] をオンにし、下部にある [Generate (生成)] をクリックします。

ステップ・バイ・ステップの手順 (続き)

License Information

Below is the License Information for the Order Line you selected.

Product: CodeWarrior Development Suite - Professional Edition, Annual
 Subscription: Standard License
 Effective Date: Jan 31, 2005
 Expiration Date: Jan 31, 2005
 Order Number: 05A-FR02-FW_0265174101
 Order Date: Jan 31, 2005
 P1 Number:
 Line Number: 1

 Generate
 Generate

License Applicable to Product(s)

Product: CodeWarrior Development Suite (Multi-OS) Processor Edition (32-bit Windows Platform) (Over 60.00)

 License Applicable to Product(s)

Product: CodeWarrior
 10 01 CodeWarrior for Power Architecture - Professional Edition (32-bit Linux Hosts) (Over 60.00)
 1 Available

 License Applicable to Product(s)

Product: CodeWarrior
 10 01 CodeWarrior for Power Architecture - Professional Edition (32-bit Windows Platform) (Over 60.00)
 1 Available

 Generate

13. [Server Host ID (サーバのホストID)] で [Ethernet Address (イーサネット・アドレス)] オプションを選択し、ステップ4で表示されたイーサネット・アドレスを入力します。[Server Name (サーバ名)] または [IP Address (IPアドレス)] も入力します。

Select an existing License Host from the list or enter a new one

Existing License Hosts

Server Host ID *

Server Name / IP Address *

Port

Host Description

For high-availability environments, license files can run in a redundant 3 - license server cluster. If you want to use this option, enter both redundant servers below as well as the primary server above. Including port numbers. Redundant license servers are not required. (Optional)

Red Server Host ID

Server Name / IP Address

Port

Host Description

Red Server Host ID

Server Name / IP Address

Port

Host Description

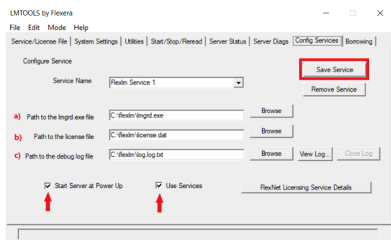
Generate

注：冗長構成のためのサーバを導入する予定がある場合は、下のセクションに日付を入力します。

14. [Generate (生成)] をクリックします。

ステップ・バイ・ステップの手順 (続き)

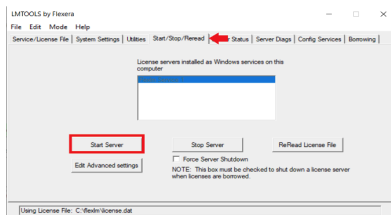
15. [Save All (すべて保存)] をクリックします。
16. 前の手順でサーバに作成したflexlmフォルダに移動し、license.datファイルを保存します。
17. flexlmフォルダ内に、log.logというファイルを作成します。
18. サーバ側でlmttools.exeを実行し、[Config Services (サービスの設定)] タブに移動します。
 - a) [Path to the lmgrd.exe file (lmgrd.exeファイルのパス)] で [Browse (参照)] ボタンをクリックして、flexlmフォルダ内のlmgrd.exeファイルを選択します。
 - b) [Path to the license file (ライセンス・ファイルのパス)] で [Browse (参照)] ボタンをクリックして、flexlmフォルダに保存したライセンス・ファイルを選択します。
 - c) [Path to the debug log file (デバッグ・ログ・ファイルのパス)] で [Browse (参照)] ボタンをクリックし、作成したログ・ファイルを選択します。



19. [Save Service (サービスの保存)] をクリックします。

ステップ・バイ・ステップの手順 (続き)

20. [Start/Stop/Reread (開始/停止/再読み込み)] タブに移動します。
21. [Start Service (サービスの開始)] をクリックします。



22. サーバが起動したら、[Config Services (サービスの設定)] タブに移動して [View Log (ログの表示)] をクリックします。ポップアップ・ウィンドウにログ・ファイルが表示され、サーバが正常に起動したことで、ライセンスされたすべての機能が使用可能であることを確認できます。

クライアント側：

1. 必要なバージョンのCodeWarriorアプリケーションをダウンロードしてインストールします。
2. サーバで使用したlicense.datファイルをCodeWarriorインストール・フォルダにコピーします (ユーザ管理者権限を使用)。

—CodeWarriorレガシー製品の場合：

- a) 以前のCodeWarrior (バージョン9.x以下)：

通常は **C:\¥Freescale¥Code Warrior for XYZ**

ステップ・バイ・ステップの手順 (続き)

b) EclipseベースのCodeWarrior (バージョン10.0以降) :

通常はC:¥Freescale¥CW XYZ vX¥XYZY

注 : レガシー製品の場合、インストール・ウィザードでは
C:¥Program Files(x86) 内のデフォルトの場所が使用されます。

これは、問題を避けるためにProgram Files (x86) の外にインストールすることをお勧めします。

ネットワーク・アプリケーション向けCodeWarriorの場合 :

a) EclipseベースのCodeWarrior for Armv7またはArmv8 (CW4NET) :

C:¥Freescale¥CW4NET_vxxxxx¥Common

b) EclipseベースのCodeWarrior for Power Architecture® v10.x :

C:¥Freescale¥CW_PA_v10xxx¥PA

3. CodeWarriorソフトウェアを実行します。「No License found (ライセンスが見つかりません) 」というメッセージが表示されたら、クライアント・マシンがサーバと同じIPアドレスに接続されていること、およびlicense.datファイルの保存に使用されたパスを確認してください。

サポート

各地の電話番号のリストは、www.nxp.jp/supportでご確認ください。

保証

詳しい保証情報については、www.nxp.jp/warrantyを参照してください。

www.nxp.jp/codewarrior

NXP、NXPのロゴ、CodeWarriorは、NXP B.V.の商標です。その他すべての製品名、サービス名は、それぞれの所有者に帰属します。Armは、米国およびその他の国におけるArm Limited（またはその関連子会社）の商標または登録商標です。関連するテクノロジーは、特許、著作権、意匠および営業秘密の一部またはそのすべてによって保護されている場合があります。All rights reserved. Power Architectureは、International Business Machines Corporationの商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。

© 2021 NXP B.V. © 2021 NXP B.V.

ドキュメント番号：CODEWARSWFLQSG REV 0